

【山口県教育委員会】ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究 取組概要図

【実施目的】

特別支援学校や小・中・高等学校等の通級による指導での自立活動の指導において、感染症対策や地理的な条件、障害の特性等により、対面による指導や集団における指導が難しい児童生徒の学びの保障や、担当教員の専門性の向上等による指導の質の向上、校種間連携や特別支援学校のセンター的機能の活用、外部専門家との連携等による切れ目ない支援体制の構築などの観点から、ICTを活用した遠隔による指導や相談支援の在り方について研究し、その成果を広く普及することにより、特別支援教育の一層の充実に資する。

【指定校：幅広い校種から指定】

小学校：1校
 中学校：1校
 高等学校：1校
 特別支援学校：3校

【取組内容】

①実態把握の在り方の研究

- ・外部専門家と連携し、動画を活用した効果的かつより客観的な実態把握の手法のモデルプロセスを構築
- ・オンライン上で、プレゼンテーション用ソフトやホワイトボード機能等を活用し、協議の経過や共通理解事項等を可視化しながら実態把握を進める方法についての実践を蓄積し、パッケージとして整理 等

②指導及び評価の在り方の研究

- ・遠隔による指導に適した指導内容や、対面による指導と遠隔による指導双方の指導上の利点や課題、留意点等の整理
- ・対面による指導と遠隔による指導を組み合わせることを前提とした「個別の指導計画」について、モデルとなる様式案を作成し、具体的な記載方法を検討
- ・特別支援学校で、感染症対策や地理的条件（分教室）、障害の特性等により集団での学び等が難しい場合の、タブレット端末や分身ロボットを活用した実践を蓄積し、実践上の留意点等を整理 等

③外部専門家や在籍学級担任等との連携の在り方の研究

- ・各指定校において、オンラインで外部専門家や特別支援教育コーディネーターから定期的に指導助言を受けられる体制の在り方を検討
- ・各指定校間でオンラインを活用したネットワークを形成し、日常的に情報交換、情報共有ができる体制を構築
- ・通級による指導において、通級指導担当教員と学級担任がオンラインで日常的に情報共有ができる仕組みを構築 等

